

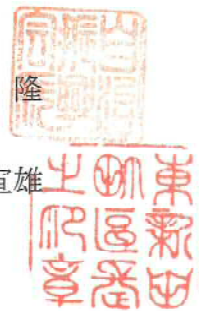
平成24年3月8日

南砺市長 田中 幹夫 殿

城端地区自治振興会長 坂井

東新田区長 石崎 宣雄

荒田町川・合掌川の維持補修の要望について



早春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東新田町内を南北に流れる荒田町川・合掌川の2河川は、平成20年7月28日の豪雨災害時に護岸を乗越え氾濫し、多数の床上・床下浸水が発生し被害が甚大となった2河川です。

あれから約4年経過しましたが、荒田町川の上流（南町）の一部が整備されようとしていますが、未だに被害のあった下流の東新田町内の決壊した護岸は、まだ何も整備されていません。毎年、更なる豪雨災害が発生しないか、城端地区全域で心配しているところです。

つきましては、ここに荒田町川・合掌川の2河川の維持補修を強く要望するとともに、今後も「安全で安心なまちづくり」に邁進いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

土木課

- ① 東新田町内を流れる荒田町川 L=約100mの維持補修
準用河川 (護岸の補修、河床の浚渫、雑木の伐採 等)

- ② 東新田町内を流れる合掌川 L=約100mの維持補修
普通河川 (護岸の補修、河床の浚渫、雑木の伐採 等)

〈合掌川の経緯〉

平成5～7年頃、3ヶ年事業で福野土木センターが県単砂防事業として東新田の宮、上流約100mを完成しました。

今後は、下流の残り100mを県及び市で、継続工事をお願い申し上げます。

○添付書類 別添 位置図等

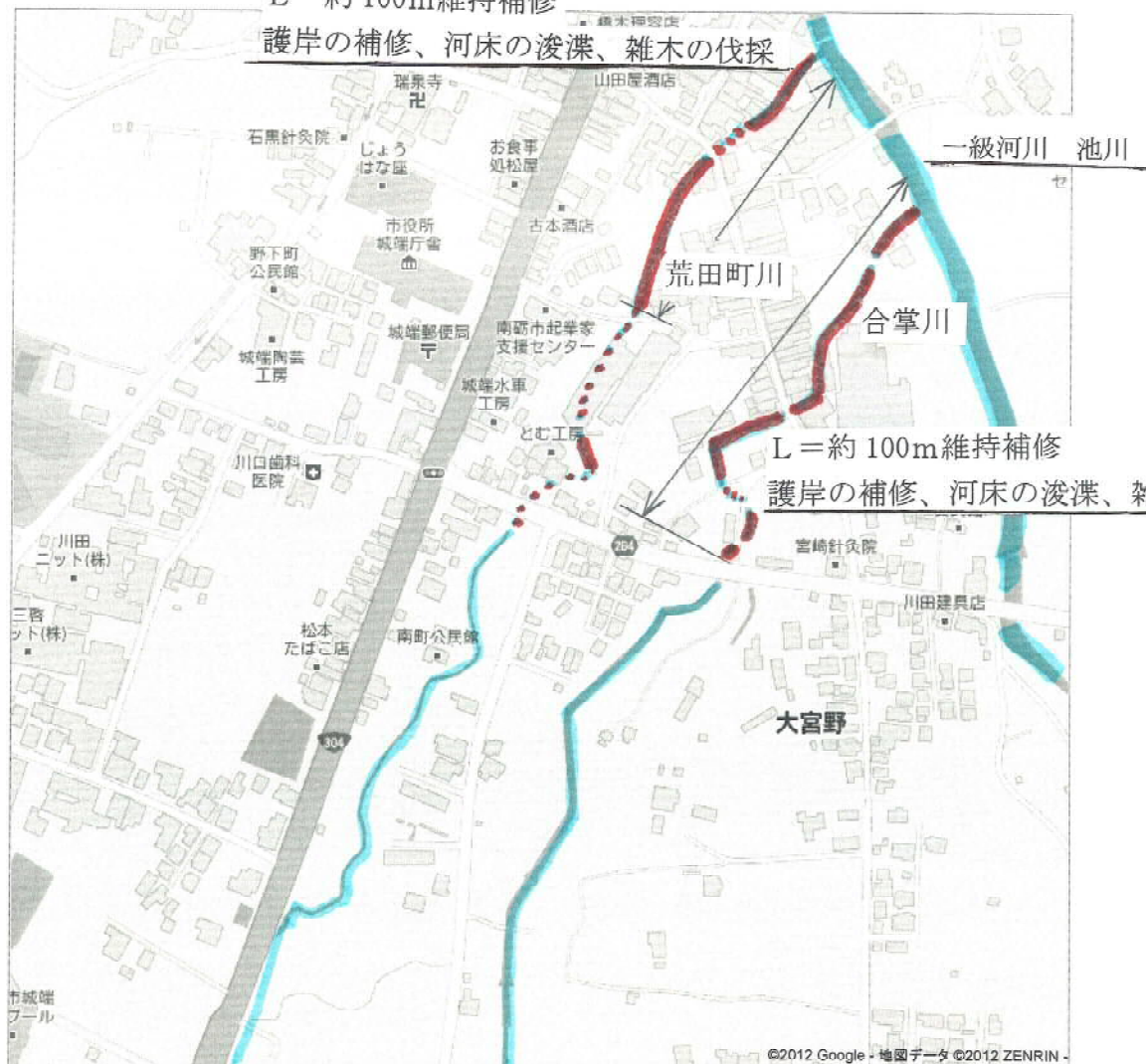


Google

住所 富山県南砺市城端

L = 約 100m維持補修

護岸の補修、河床の浚渫、雑木の伐採



L = 約 100m維持補修

護岸の補修、河床の浚渫、雑木の伐採

被害のあった下流の東新田町内

7・28豪雨災害

爪跡深く

7月28日（月）、未明から早朝にかけ、市内を襲った凄まじい豪雨。城端・平・福光地域では、1時間に120ミリを超える猛烈な雨が降ったと推測され、大雨洪水警報、土砂災害警戒情報、城端・福野地域には避難勧告が相次いで発令されました。

この「100年に一度」ともいわれる豪雨のため、城端・平・福光地域を中心に、住宅の全半壊や浸水被害、道路の陥没や土砂崩れ、田畑の冠水、停電・断水、通行止めによる集落の孤立状態など、市内各地に大きな被害が発生しました（災害の流れ、被害状況別表参照）。

市では、未曾有の災害に打ちひしがれる被災者のみなさんを支援するため、「災害救助法」の適用を受け、「南砺市災害対策本部」を設置。一日も早い復旧を目指し、被害状況の確認、支援策の取りまとめを行っています。



- ① 水に浸かる住宅街（城端地域東新田地区）
- ② 山田川の氾濫で流木に埋まる水田（城端地域野口地区）
- ③ 山田川の氾濫で土砂が堆積した道路（城端地域栄町地区）
- ④ 畦が崩壊し水浸しのヒマワリ畑（城端地域泉沢地区）